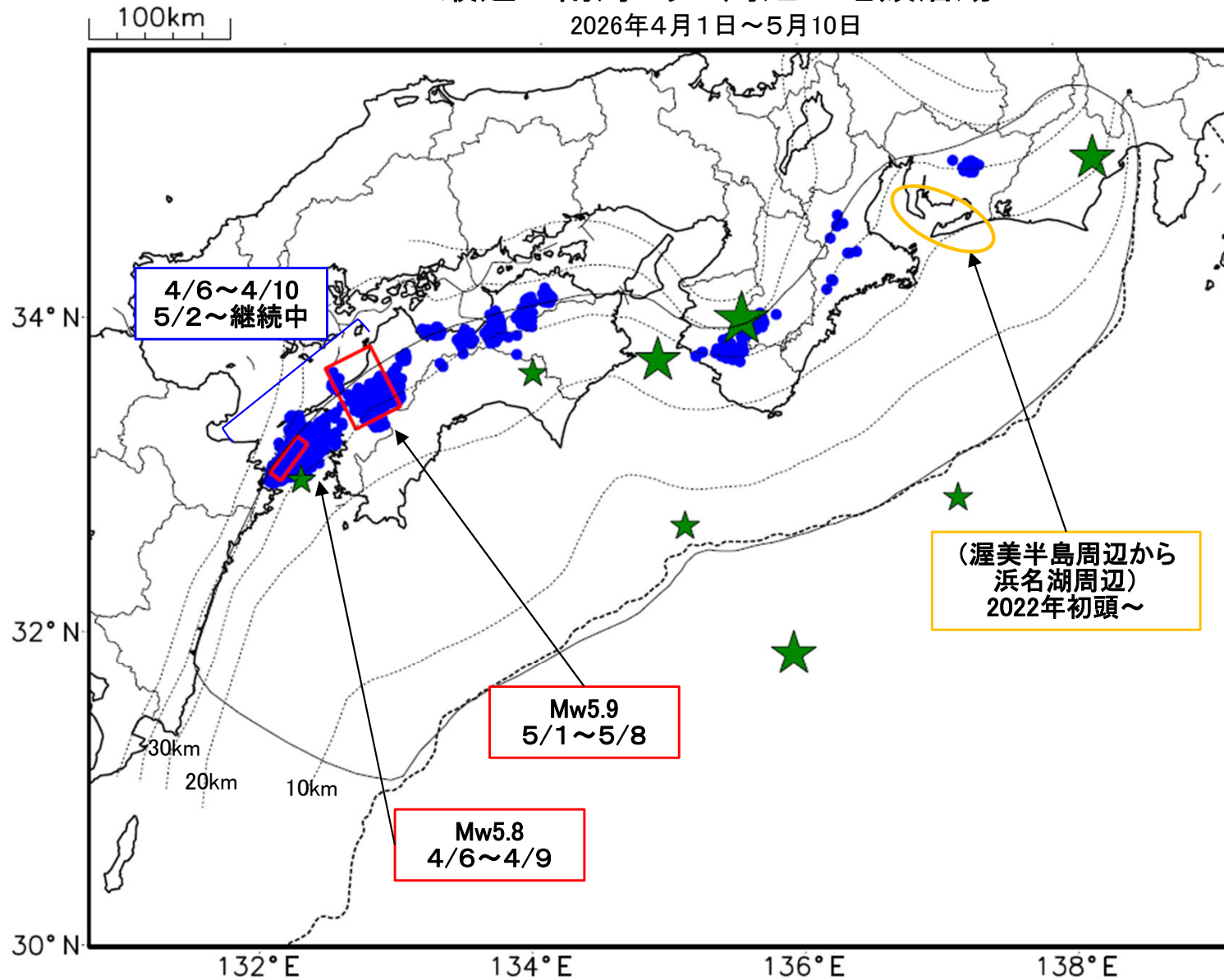


# 最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2026年4月1日～5月10日



- 緑(★)  
通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上の地震、大きさはMの大きさを示す)
- 青(●)  
深部低周波地震(微動)
- 赤(□)  
短期的ゆっくりすべリ
- 黄(○)  
長期的ゆっくりすべリ

※地図中の点線は、Baba et al.(2002)、Hirose et al.(2008)、Nakajima and Hasegawa(2007)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

※深部低周波地震(微動)及び短期的ゆっくりすべリは、2月1日以降のものを示す。

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。  
 深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。  
 短期的ゆっくりすべリ.....【四国西部(1)】産業技術総合研究所の解析結果を示す。【四国西部(2)】気象庁の解析結果を示す。  
 長期的ゆっくりすべリ.....国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

## 令和8年4月1日～令和8年5月10日の主な地震活動

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度3以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震及びその他の主な地震】

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	発生場所
4/6	15:45	南海道南方沖	-	4.7	1	フィリピン海プレート内
4/9	04:27	豊後水道	40	3.5	1	フィリピン海プレート内部
4/13	15:14	和歌山県南方沖	-	3.7	-	
4/20	18:44	紀伊水道	14	4.3	3	地殻内
5/2	18:28	和歌山県南部	65	5.8	4	フィリピン海プレート内部
5/4	00:19	三重県南東沖	-	3.7	-	フィリピン海プレート内
5/7	04:30	高知県中部	34	3.7	2	フィリピン海プレート内部
5/8	12:36	静岡県中部	6	4.3	3	地殻内

※震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。

※太平洋プレートの沈み込みに伴う震源が深い地震は除く。

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
<b>■四国東部</b> 3月27日～4月4日 4月12日～13日 4月18日～19日 4月26日～28日 4月30日 5月4日～5日 5月9日～10日  <b>■四国中部</b> 4月2日 4月11日 4月18日 4月20日～21日 5月2日～5日  <b>■四国西部</b> 3月27～4月4日 <u>4月6日～10日</u> <sup>注)1</sup> . . . (1) 4月12日～15日 4月17日～23日 4月28日 <u>5月2日～(継続中)</u> <sup>注)2</sup> . . . (2)	<b>■紀伊半島北部</b> 4月12日～13日 4月21日～22日  <b>■紀伊半島中部</b> 4月2日 4月16日 5月2日～4日  <b>■紀伊半島西部</b> 4月3日 4月20日	4月20日～21日

※深部低周波地震（微動）活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動（継続日数2日以上または活動日数1日の場合で複数個検知したもの）について、活動した場所ごとに記載している。

※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震（微動）活動を赤字で示す。

※上の表中（1）、（2）を付した活動は、今期間、主な深部低周波地震（微動）活動として取り上げたものの。

注1） 防災科学技術研究所による解析では、4月6日から10日頃にかけて微動活動が見られた。

注2） 防災科学技術研究所による解析では、5月2日から8日頃にかけて微動活動が見られた。